



（写真）Con el Mazo Dando “カベジヨ内務司法相 野党関係者と MCM 氏母親の国外移動について言及”

2025年5月7日（水曜）

政治

- 「[亜大使公邸の野党関係者と MCM 母の国外脱出](#)
～カベジヨ内務司法相 野党と協議した～」
- 「[MCM グループ 交渉ではなく救出作戦の成果](#)」
- 「[米国政府 マドゥロ政権との協議を否定](#)」
- 「[マドゥロ大統領 プーチン大統領と合意締結](#)」

経済

- 「[Alnavio 制裁緩和を条件に野党関係者を解放](#)」
- 「[CITGO 25年Q1は8200万ドルの純損失](#)」
- 「[カザフスタンとガス開発での関係強化を模索](#)」
- 「[ベネ観光相 日本の旅行代理店関係者と面談](#)」

2025年5月8日（木曜）

政治

- 「[マドゥロ大統領 習近平国家主席と会話](#)」
- 「[5月7日、8日で合計386人の移民到着](#)」
- 「[Datanalisis 5月選挙の投票率は30～40%](#)」

経済

- 「[マドゥロ政権 制裁ライセンス失効に向け準備](#)
～中銀役員を政権と関係の近い人物に交代～」
- 「[25年1、2月 米国からの希釈剤輸入が減少](#)」
- 「[カラカス不動産 賃貸は好調、売買は停滞](#)」

社会

- 「[国内の飛行機利用 期限内の身分証明書が必要](#)」

2025年5月7日（水曜）

政治

「亜大使公邸の野党関係者と MCM 母の国外脱出
～カベジョ内務司法 野党と協議した～」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1213](#)」にて、在ベネズエラ・アルゼンチン大使公邸で保護されていた急進野党の関係者5名が解放され、米国に移動したとの記事を紹介した。

5月7日 本件について、ディオスダート・カベジョ内務司法相がコメントした。

本件に関してカベジョ内務司法相が語った重要な点は以下の3点。

1. アルゼンチン大使公邸にいたのは5人ではなく4人

5月7日にアルゼンチン大使公邸から米国に移動したのは Magalli Meda 氏、Claudia Macero 氏、Omar González 氏、Pedro Urruchurtu 氏、Humberto Villalobos 氏の5人と報じられていた。

しかし、カベジョ内務司法相の説明によると、Claudia Macero 氏は2024年8月20日に彼自身の意志で大使公邸を出ており、大使公邸内に残っていたのは4人だったという。

Claudia Macero 氏は、野党のリーダーであるマリア・コリーナ・マチャド氏（以下、MCM）を党首とする「Vente Venezuela」のメディア担当であり、MCM 氏の選挙キャンペーンに関連する情報を発信するために記者らを招集する役割を担っていた。

2. 交渉は存在した

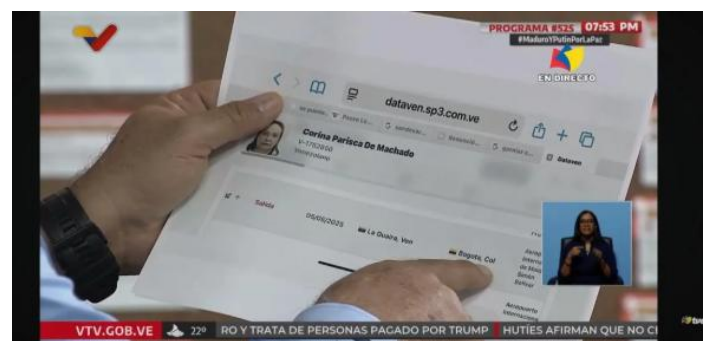
後述するが米国政府はマドゥロ政権との交渉を否定しているが、カベジョ内務司法相は「交渉を行った」と言及。

「最終的にレオポルド・ロペスが行ったように交渉で決着した」「常に交渉で物事は進展する」「彼らは何を言おうが交渉が行われたことは事実だ」と述べた。

3. MCM 氏の母親が国外に移動

カベジョ内務司法相は、交渉での合意の1つとして「MCM 氏の母 Corina Parisca Pérez 氏の安全な他国への移動を保証した」とコメントした。

「（Corina Parisca 氏の写真を公開しながら）この女性は MCM の母親だ」「彼女のパスポート情報がここにある」「交渉の合意の1つとして、この女性は空港から出国した」「この情報によると、彼女はコロンビア、ボゴタに移動したようだ」とコメントした。



（写真）国営放送局 VTV

“Corina Parisca Pérez 氏のパスポート情報

カベジョ内務司法相”

「MCM グループ 交渉ではなく救出作戦の成果」

カベジョ内務司法相が上記の説明をした後、在ベネズエラ・アルゼンチン大使公邸で保護されていた急進野党の一人である Magalli Meda 氏は、自身のソーシャルメディアアカウントにて、カラカスの自宅がマドゥロ政権関係者に侵入されたと訴えた。

「世界に向けて警告する」

「Jorge Olavarria (Meda 氏の夫) と私 Magalli Meda は、我々の国外脱出について、カベジョが交渉したと虚偽の説明をしていると同時に、彼らがカラカスにある我々の自宅に侵入していることを訴える」と投稿。Meda 氏の自宅で撮影したと思われる写真も投稿した。



Alerta Mundial

Jorge Olavarria y yo Magalli Meda DENUNCIAMOS que en estos momentos, mientras Cabello miente sobre supuestas negociaciones para nuestra salida, su brazo represor violenta nuestro hogar en Caracas. Estas imágenes fueron obtenidas de manera remota hace pocos [Mostrar más](#)



10:21 a. m. · 8 may. 2025



(写真) @MagalyMeda

Meda 氏の説明を見る限り、野党は交渉をしていないと主張しているが、野党側は「レスキューオペレーションの成果」と微妙な表現をしている。

MCM 氏のグループが管理するアカウント「Comando Con Vzla」は、今回の一件について「国際的なレスキューオペレーションの成果によりマドゥロ政権は突然解放した」と説明している。

MCM 氏を中心とする野党主流派は、「マドゥロ政権との交渉=悪いこと」「政権交代を前提とした交渉のみ受け入れる」というスタンスを掲げている。

今回の野党関係者の解放および MCM 氏の母親の国外移動は、政権交代を前提とした交渉にならないため、野党主流派のスタンスと矛盾が生じるのでマドゥロ政権との交渉を否定していると思われる。

「米国政府 マドゥロ政権との協議を否定」

米国政府もマドゥロ政権と交渉はしていないとの認識を示している。

米国国務省の Natalia Molano 報道官は、インターネットのインタビュー番組に出演し、カベジョ内務司法相の説明を否定した。

「アルゼンチン政府も説明している通り、今回の一件に関連して一切の交渉は存在しない」「今回の一件は単なる“取り出し (extraction)”である」「とても適切なオペレーションだった」とコメントした。



「マドゥロ大統領 プーチン大統領と合意締結」

5月7日 マドゥロ大統領は、ロシアのプーチン大統領とクレムリン宮殿にて面談。

ベネズエラ・ロシア外交関係樹立80周年を記念し「戦略的協力関係合意」に署名した。

ロシア大統領府は今回の合意について

「ベネズエラとロシアの高レベルの関係強化を進めるもので、長期的な協力と未来の発展を構築する合意」と説明。

また、今回の署名式に同席したベネズエラのヒル外相は「政治・経済・エネルギー・金融・気候・技術・衛生・農業・医療・国防などに関する新たな合意を締結した」と説明。

ただし、具体的な合意内容については明言しなかった。

なお、協議の冒頭にマドゥロ大統領とプーチン大統領は、両国の取引関係について確認。2024年は両国の取引が前年から64%も増加しており、エネルギー・交通・ロジスティクス・衛生・医薬品などの分野で良い関係を構築できているとの認識で一致したという。



（写真）ロシア大統領府

経 済

「Alnavio 制裁緩和を条件に野党関係者を解放」

現地メディア「Alnavio」は、匿名関係者からの情報として、急進野党関係者と MCM 氏の母親の国外脱出の背後にある交渉内容について報じた。

Alnavio によると、今回の交渉には MCM 氏自身が参加し、彼女の母親である Corina Parisca 氏の国外移動が決まったという。

また、急進野党関係者と MCM 氏の母親の国外脱出の条件として、Chevron によるベネズエラ国内でのオペレーションを保証する制裁ライセンスを延長することが含まれているという。

トランプ政権は、Chevron のベネズエラ国内でのオペレーションを保証するライセンス No.41 を更新。このままだと5月27日に同ライセンスが失効する予定となっている。

「CITGO 25年Q1は8200万ドルの純損失」

米国にある PDVSA の関係会社「CITGO」の Carlos Jordá 社長は、2025年第1四半期の決算を発表した。

同発表によると、精製で得られる利益が低下し、収益に悪影響を与えた結果、純損失は8200万ドル、EBITA（利払い・税引き・減価償却・償却前利益）は8800万ドルの赤字になったという。

25年Q1は純損失となったが、24年Q4の1億4600万ドルの赤字からは改善したと指摘。状況が改善しているとの見解を示した。

25年Q1の石油製品販売量については、日量43.3万バレルと24年Q4の販売量から微減したと報告。

また、Sour Lake パイプラインの拡張工事を行っており、25年Q2末に完了する見通しと説明。この拡張工事が完了すれば、Sour Lake パイプラインの処理能力は現在の日量26.3万バレルから同32万バレルに増加するとの見通しを示した。

「カザフスタンとガス開発での関係強化を模索」

マドゥロ大統領は、ロシア訪問中にカザフスタンのKasim-Yomart Tokáev 大統領と面談。両国のエネルギー関係強化に関して協議を行った。

報道によると、マドゥロ政権は同協議で、国営ガス公社KazMunayGas（カズムナイガス）との関係強化の可能性を模索したという。

カザフスタンは OPEC プラスを構成する重要な国の1つであり、ガス輸出国でもある。

「ベネ観光相 日本の旅行代理店関係者と面談」

5月7日 ベネズエラの Leticia Gómez 観光相は、日本の旅行代理店関係者と面談。「日本からの観光客受け入れを推進する」との見解を示した。

Gómez 観光相によると、面談した日本人の名前は Ota Shiaschi 氏。日本人の名前としては違和感があるので、聞き間違えたか書き間違えたと思われる。

Ota 氏は、「Fam Trip」という、単なる観光ではなく、観光客にベネズエラの文化的な背景を理解してもらう学習的な意味合いのある観光を促進する旅行を行っている人物のようだ。



leticiagomezve と minturvzla2.0
61.5K フォロワー

[プロフィールを表示](#)

[Instagramでもっと見る](#)


「いいね！」603件

leticiagomezve

¡Seguimos impulsando el turismo receptivo desde Japón!

Como parte de nuestra agenda de trabajo de hoy, #07Mayo, sostuvimos un fructífero encuentro Ota Shiaschi, Turoperador Japonés que se encuentra realizando un #famtrip por distintos destinos de nuestro país como parte de las acciones estratégicas de @minturvzla para impulsar este importante motor de la economía nacional.

（写真）Leticia Gómez 観光相 Instagram

2025年5月8日（木曜）

政治

「マドゥロ大統領 習近平国家主席と会話」

5月8日 マドゥロ大統領は、ロシア政府が主催した夕食会に出席。中国の習近平国家主席と会話をを行った。

マドゥロ大統領は、2024年11月に中国を訪問。ベネズエラへの投資に関する10の合意を締結していた。

また、25年4月にデルシー・ロドリゲス副大統領が中国を訪問。「中国天然気集団（CNPC）」の社長と面談するなど、米国の制裁ライセンス失効後の生き残り戦略への支援を求めている。



(写真) Yvan Gil 外相 Telegram

「5月7日、8日で合計386人の移民到着」

5月7日、8日にベネズエラ不法移民が送還された。

5月7日に送還されたベネズエラ不法移民は71人（男性62人、女性9人）。米国からホンジュラス経由でベネズエラに帰国した。

また、翌8日には315人（大人197人、子供118人）がメキシコ経由で送還された。

これで2025年2月に米国からの不法移民送還が始まって20回目、帰国した人数は4032人になる。

Chevron の制裁ライセンス撤回が迫る中、マドゥロ政権はトランプ政権との合意を守っているようで、週3便の移民送還を履行しているようだ。

「Datanalisis 5月選挙の投票率は30～40%」

世論調査会社「Datanalisis」の José Antonio Gil Yépez 氏は、ラジオのインタビュー番組に出演。

5月25日に予定されている国会議員選・州知事選の投票率について30～40%になるとの見解を示した。

「我々の調査によると、5月に行われる選挙に関して30～40%が投票意思を示している」

「歴史的に州知事選や国会議員選の投票率は大統領選よりも低くなる」「どんなに投票率が高くても60%を超えることはない」との見解を示した。

経 済**「マドゥロ政権 制裁ライセンス失効に向け準備
～中銀役員を政権と関係の近い人物に交代～」**

トランプ政権は、Chevron を始めバイデン政権がPDVSAとの取引を許可した外国企業の制裁ライセンスを5月27日に失効させようとしている。

本件について、現地メディア「Bitacora Economica」は、マドゥロ政権が、制裁ライセンス失効後を想定して、準備を進めていると報じた。

具体的には、中央銀行役員の交代。

4月11日 中央銀行頭取を含めて役員が一新された（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1203](#)」）。

今回の役員交代により中央銀行はデルシー・ロドリゲス副大統領（兼石油相）の影響を強く受けるグループに代わったという。

トランプ政権1期目で、マドゥロ政権はデジタル通貨を介して制裁を回避しながら原油取引を行う手段を身に付けており、ロドリゲス副大統領のグループが制裁回避のノウハウを持っているという。

また、デジタル通貨での取引はこれまで以上に安全に取引することが可能になっているという。

「Bitacora Economica」によると、制裁ライセンスが失効した場合、PDVSA は間違いなく相当なディスカウントをして中国に原油を販売するが、原油取引は前払いになるという。

他、米国が制裁ライセンスを失効させた場合、ベネズエラの産油量は、日量20万バレルは減少すると予想される。

産油量減少により外貨収入も減少し、これまでのように為替レートを維持するために両替市場に外貨を供給できなくなることが懸念されている。

この状況を想定し、マドゥロ政権は「中央銀行に出来るだけ政権に近い人物を置く必要がある」と考え、中銀役員を一新したとしている。

「25年1、2月 米国からの希釈剤輸入が減少」

米国「エネルギー情報局（EIA）」によると、25年1～2月にベネズエラは米国から平均で日量3万バレルの石油製品を輸入した。これは前年同期比66%減になる。

また、日量3万バレルの石油製品のうち52%に当たる15,500バレルは希釈剤の輸入だったという。

2024年1～2月にベネズエラは平均で日量77,500バレルの希釈剤を米国から輸入していたため、前年同期比80%減ということになる。

なお、トランプ政権がChevronの制裁ライセンスNo.41を更新したのは3月4日で、Chevronの制裁ライセンスの変更が輸入量に影響を与えたということはない（「[ベネズエラ・トゥデイ No.1186](#)」）。

「カラカス不動産 賃貸は好調、売買は停滞」

「カラカス首都区不動産商工会」の Fernando Di Geronimo 代表は、インタビュー番組に出演。

カラカスの賃貸業は好調であり、現在は90%の賃貸は埋まっていると言及。一方、不動産売買についてはあまり伸びていないと述べた。

また、「商業用賃貸や倉庫用賃貸については新たな計画がたくさんあり、投資が増えている」との見解を示した。

「カラカス首都区の賃貸が好調な理由について、地方の人々が職を探しに首都圏に移住している」「彼らの多くは住宅を購入するほど資金力がなく、賃貸をすることになる」とコメントした。

社 会

「国内の飛行機利用 期限内の身分証明書が必要」

ベネズエラの航空会社「LaserAirline」は、「出入国・身分管理局（Saime）」からの指示により、5月から国内線を利用する場合でも期限内の身分証明書（セドゥラ）の提示が必要になるとの通知を公表した。

これまで国内線については、期限切れの身分証明書でも身分証明書として有効だったが、今後は有効ではなくなると言う。



（写真）LaserAirline

以上